

(4)各委員会の意見発表

① 第1委員会

「昔の名古屋に思いをはせるまちづくり」



それでは、第1委員会の意見を発表します。

第1委員会のテーマは、「昔の名古屋に思いをはせるまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、私たちは7月23日に市政資料館の施設見学を行いました。そこで、私たちは、昔の裁判所である控訴院は全国で8カ所ありましたが、今では2カ所に減ってしまいました。その一つが名古屋市市政資料館です。その資料館には、裁判所のシンボルである日輪が刻まれていた立派なステンドグラスや天然の大理石が使われていました。大理石には化石が入ったものもありました。また、資料館にはたくさんの部屋があり、書庫には古い資料が虫よけの薬も使いしっかり保存されていました。さらに、名古屋市は5つの姉妹友好都市があることを学びました。そして、貴重な大理石や資料があったのに2カ所しか残っていないのはとても残念です。名古屋市の貴重な資料をしっかり保存していくことはこれからの名古屋にはとても大切なことで、貴重な資料をしっかり保存していくことはこれからの私たちにとっては必要なことだということがわかりました。

その後、私たちは、施設見学をしてわかったことや感じたことをもとに、名古屋を「昔の名古屋に思いをはせるまち」にするためには何をすればいいか考えました。

それでは、私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

市政資料館^{しせいしりょう}に行って一番驚いた^{おどろ}ことは、天然の大理石に化石があると
ころがあったということです。つくられた当時は天然の大理石に化石が
あることに気づく人はいませんでした。でも、保存^{ほぞん}していくと、化石に
気づいたり、その建築物^{けんちくぶつ}のよいところや昔のすごい技術^{ぎじゆつ}がいろいろなと
ころに刻^{きざ}まれていました。

また、市政資料館^{しせいしりょう}は昔の裁判所^{さいばんしょ}でした。一部の人では、「この裁判所^{さいばんしょ}を
取り壊^{こわ}そう」という声もある中で、このような形で残ってきたのは、す
ばらしいと思います。私は、これからもこの建築物^{けんちくぶつ}を大切に保存^{ほぞん}してほ
しいです。また、このようなことを通して保存^{ほぞん}するよさがわかりました。
これからも、今存在^{こんざい}する歴史的な建築物^{けんちくぶつ}をできるだけ美しく、できるだ
けこの今というときに近い形で保存^{ほぞん}してほしいです。

○子ども議員

一番印象に残ったことは、珍しく貴重^{めづら きちょう}であった洋風の建物を次々に壊
してしまい、とてももったいないことをしてしまったことです。さらに、
日本全国に8カ所もあった控訴院^{こうそいん}は、現在札幌^{げんざいさっぽろ}と名古屋だけの2カ所に
まで減^へってしまったことです。そして、よいこともあります、よいこ
とだけではなく悪いこともあったということです。

○子ども議員

僕が施設見学を通して思ったことは、昔の施設や物を残したり復元することの大切さです。残したり復元することによって昔の人々の様子、気持ち、歴史など書物だけでは伝わりにくい部分が伝わるのでとてもよいと思います。施設や物を残したり、復元することは昔の人々と今の人々の思いをつなぐことだと感じる事ができました。

○子ども議員

私は、イベントなどで名古屋市市政資料館についてのクイズスタンプラリーなどがいいと思います。小さな子どもにもわかりやすくすれば、きっとわかると思いますし、このようにして名古屋市市政資料館の移り変わりやいつ完成したのか、いろいろなことをいろいろなやり方で伝えていきたいです。また、いろいろな人に興味を持ってほしいです。名古屋を「昔の名古屋に思いをはせるまち」にしていきたいです。

○子ども議員

私は、控訴院が8カ所から2カ所に減少されたことにびっくりしました。なぜなら、せっかく高いお金をかけてつくったものなのに、メリットがたくさんあるわけでもないのに壊してしまうのはよくないからです。なので、私は昔の古い建物などを壊すなどと国が言ったときに反対などをしてとめれば、「昔の名古屋に思いをはせるまち」になると思います。

○子ども議員

私は、市政資料館を見学して、この建物が昔の裁判所だったことを知りました。ここでは、昔の名古屋に関するたくさんの資料がしっかり管理してあり、それを今も見られることはすごいと思いました。そして、今まで知らなかった昔の名古屋について知ることができました。本来なら貴重だった建物も資料も次々に壊されたり、なくなったりしています。そんな中、市政資料館は今でも残っていて、私たちはそれを見ることができます。「昔の名古屋に思いをはせるまち」にするには、昔の貴重な建物も資料もしっかり管理し、少しでも多くの名古屋市民のみんなに昔の名古屋についてもっと知ってもらうことが大切だと思います。

○子ども議員

僕が^{ぼく}市政資料館^{しせいしりょう}を見て思ったことは、昔の名古屋は太平洋戦争でアメリカ軍の爆撃^{ばくげき}により多くの家が焼けたり、多くの人が亡^なくなったり、焼け野原になりました。昭和20年8月15日、戦争が終わり名古屋市はいち早く復興計画^{ふっこう}をつくり復興^{ふっこう}の仕事を始めて、近くの村や町と合併^{がっぺい}しました。自然災害^{さいがい}にも負けず、今日^{こんにち}のような名古屋市をつくり上げました。今の名古屋市は、人口もふえて、交通もよくなり、住みやすいまちになりました。このまま戦争も起こらず、住みやすいまちであってほしいと思います。

○子ども議員

名古屋を「昔の名古屋に思いをはせるまち」にするには、名古屋港や市政資料館^{しせいしりょう}、いとう呉服店^{ごふくてん}などの昔の文化をずっと先の未来まで残していけば、より多くの人が昔の名古屋について知ることができると思います。そうすれば、きっとみんなが昔の文化を現代^{げんだい}のまちにうまく使って、みんなが大切にしてくれると思います。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、できるだけ名古屋の歴史を知ってもらうことが大切だと思います。そのためにも新しい建物を次々と建てるのではなく、昔の建物を残そうとする気持ちが大切だと思います。さらに、その歴史を後世に伝えていくことも大切だと思います。名古屋の歴史はおじいさんやおばあさんだけが知るものではなく、^{ぼく}僕たち子どもたちも知るべきだと思います。

○子ども議員

名古屋市を「昔の名古屋に思いをはせるまち」にするためには、多くの人が名古屋の歴史を知る必要があると思います。

^{わたし}私は、^{しせいしりょう}市政資料館を見学して、名古屋は戦争や災害で大きな被害を受けているけれど、まちの人たちはそれを乗り越えて、今の名古屋があることに感動しました。なので、その^{しりょう}資料や建物を^{ほぞん}保存していくことは大切だと思いました。

大切な^{しりょう}資料や建物をみんなに見てもらいたいのので、名古屋の歴史や資料を見られるようにイベントを開催して、名古屋のことをアピールしていくことが大事だと思います。名古屋の昔を知ることで、名古屋はこんなに歴史があって、^{すてき}素敵なまちなんだなとみんなにわかってもらえと思っています。

○子ども議員

わたしは、^{し せ い し り ょ う}市政資料館でいろんなことを学びました。特に ^{おどろ}驚いたことは、^{わたし}私が生まれるずっと前に名古屋市が ^{わり}7割が火事で燃えてしまったということです。^{わたし}私は、多くの人が被害を受け、今ある100メートル道路も当時は5.5メートルあったけれども火事で2.5メートルになってしまったそうです。

^{わたし}私は、この昔の火事のことを通して、今の名古屋市が火事が少なくなると思います。そして、このような昔の大切なことを残している ^{し せ い し り ょ う}市政資料館をこれから先も残して、多くの人に昔のことを知ってもらいたいです。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、^{し せ い し り ょ う}市政資料館を見学していろいろなものを見たり聞いたりしました。一番印象に残ったことは、昔、^{こうそいん}控訴院（今の ^{し せ い し り ょ う}市政資料館）が全国に8カ所ありましたが、今では名古屋と札幌の2カ所しか残っていないことです。ここが ^{し り ょ う}資料館として始まった後、大理石の手すりから化石が見つかりました。それはお客さんが見つけたものだそうです。

もし、ほかのところのようにここを ^{こわ}壊していたら、化石は見つからなかったのです。名古屋市民の残そうという気持ちが新たな発見につながったのです。このように、残そうという気持ちが大切だと思います。

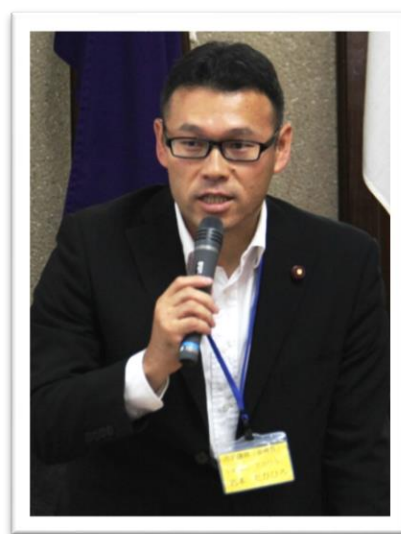
^{わたし} 私たち第1委員会は、このようなことが名古屋を「昔の名古屋に思いをはせるまち」にするために必要だと考えました。

これで、第1委員会の発表を終わります。

■ ^{いわもと そう む かんきょう}岩本総務環境委員長の答弁^{とう べん}

第1委員会の子ども議員の^{みな}皆さん、本当にすばらしい発表ができたと思います。

第1委員会、「昔の名古屋に思いをはせるまちづくり」、^{みな}皆さんと暑い中、^{し せい しりょう}市政資料館に歩いていったのを思い出します。そこで子ども委員長、そして子ども副委員長がしっかりと委員会の^{みな}皆さんの意見をまとめていたと思います。



委員会の中で、何が昔の名古屋にあった、何がこれから^{ぼく}僕たちが必要なのか、^{わたし}私たちが必要なのかということをしかりと^{ぎろん}議論していただいたと思います。その中で、古いものもしっかりと残していくことが必要であり、それがおじいちゃん、おばあちゃんだとかが知るだけじゃなく、^{わたし}私たちも知っていくことがこれからの名古屋をつくっていくのに必要なことだということを、^{みな}皆さんの発表の中で^{わたし}私もはっとさせられる思いになりました。

^{みな}皆さんがあるのは、しっかりとおじいちゃん、おばあちゃんがいて、
そしてお父さん、お母さんがいる、名古屋市ができてもう100年以上た
つわけですから、これから古いことをしっかりと、歴史を学びながら、
これから^{みな}皆さんとともに元気な名古屋市を^{わたし}私たちもつくっていきたい
と思います。

そして、子ども議長を^{はいしゅつ}輩出させていただいたこの第1委員会、すばら
しい委員会だったと思います。^ひ日比副委員長、^{おおむら}大村副委員長、そして^{かとう}加藤
先生とともにこの第1委員会の^{みな}皆さんとこの時間を^す過ごすことができ、
^{わたし}私たちも本当にうれしく、そして^{ほこ}誇りに思います。またこれからも^{いっしょ}一緒に
名古屋を元気なまちづくりをするように、つくり上げていきましょう。

ありがとうございました。

